様式第２号

添付書類①【生活保護を受給している方】

生活保護法（昭和２５年法律第１４４号）第３６条の規定による
生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書

令和８年　　月　　日

社会福祉事務所等の証明を受けてください。

（証明者）　　印

基準日である「令和８年(2026年)７月１日現在」の証明を受けてください。

次の世帯が、令和８年７月１日現在、生活保護法（昭和２５年法律第１４４号）第３６条の規定による「生業扶助（高等学校等就学費）」の受給中であることを証明する。

世帯主氏名	住　所
北海　一郎	北海道札幌市中央区北３条西７丁目

世帯員氏名

氏　　名	続柄	生年月日	保護開始日
北海　一郎	本人	昭和〇〇年〇月〇日	平成26年7月1日
北海　花子	妻	昭和〇〇年〇月〇日	平成26年7月1日
⋮			

保護開始日は基準日以前であること。

世帯員の氏名、続柄、生年月日、保護開始日は申請者本人が記載してください。

証明書の使用目的
北海道公立高校生等奨学給付金の受給手続きのため

この証明書か「生業扶助（高等学校等就学費）」の証明がある「生活保護受給証明書」のどちらかを提出してください。

※　従来の「生活保護受給証明書」等により、認定基準日現在の高校生等本人に係る「生業扶助（高等学校等就学費）の措置状況」が確認できる場合は、代用を可とする。

※ この欄は、押印を省略する場合に記載してください。

担当課名
連絡先

添付書類②【生活保護を受給している方】

生 活 保 護 受 給 証 明 書

住　　所　　北海道札幌市中央区北３条西７丁目

世帯主氏名　　北海　花子

生年月日　　昭和〇年〇月〇日

続　柄	氏　名	生年月日
母	北海　花子	昭和〇年〇月〇日
長男	北海　道男	平成〇年〇月〇日
次男		
三男		

「生業扶助（高等学校等就学費）」の記載があることを確認してください。※記載箇所は問いません（例えば、使用目的欄等を活用して、記載いただいても問題ありません）。

扶助の種類

生活扶助　　住宅扶助　　教育扶助　　介護扶助　　医療扶助

生業扶助（高等学校等就学費）

受給期間

令和４年10月１日　から　令和－－年－－月－－日　まで

受給開始日は基準日（令和８年(2026年)７月１日）以前であること。

使用目的

北海道公立高校生等奨学給付金の申請手続きに使用するため

宛　　先　　北海　花子　様

証明書の日付は基準日（令和８年(2026年)年７月１日）以降であること。

上記の世帯は生活保護法による保護を受給していることを証明する。

令和８年（2026年）７月28日
〇〇市保健福祉部長　〇〇　〇〇

この証明書は社会福祉事務所から取得できる「生活保護受給証明書」の例です。
必ず、扶助の種類に「生業扶助（高等学校等就学費）」が記載されているものを提出してください。この証明書か様式第２号（生活保護法（昭和２５年法律第１４４号）第３６条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書）のどちらかを提出してください。

所得（市・道民税）証明書

添付書類（課税証明書）【生活保護受給世帯以外の方】

納税義務者　住所
氏名

平成　年度	合計所得金額	市民税	道民税	年現額
	¥0円	所得割額 -¥0円 均等割額 ¥0円	所得割額 ¥0円 均等割額 ¥0円	¥0円

以下　年分の所得の内訳

所得控除額等の内訳			
損害・雑損	¥0円	障害者	¥0円
医療費	¥0円	寡婦（夫）	¥0円
社会保険			
小規模			
生命保険			
地震保険			

扶養親族の内訳	配偶者		扶養数					障害者			本人該当
	一般	老人	特定	老人 同居		一般	年少	特別障害 同居		普通障害	
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

備考

本書のとおり相違ないことを証明します。

平成　年　月　日

札幌市長

申請する「年度」の証明書が必要です。

こちらの「道民税・市町村民税」のうち「所得割額」が「0～99円」の方が非課税の該当になります。100円以上の金額が記載されている方は保護者等全員の合計額により該当世帯区分が変わります。合計額が182,500円以上の場合は、奨学給付金の対象者とはなりません。